

## 第 32 回近畿地域福祉学会 奈良大会

### 大会テーマ 「with コロナ時代に問われる地域福祉の真価と可能性」

#### 1. 趣 旨

新型コロナウイルス感染症は、地域社会に大きな不安や脅威をもたらし、日々の生活は大きく変化しました。経済的な困窮、自粛生活による心や身体的不安・不調、社会的孤立の深刻化、リスクを抱えた人や世帯の潜在化、ストレスの増大と排除の応酬など、コロナ禍による切実な生活課題は、世代や属性を問わず生じています。

地域福祉の現場では、一人ひとりの存在を大切にしながら、人と人が出会い、関わり合い、知恵や力を合わせることで、これまでいくつもの困難に立ち向かってきました。コロナ禍によって、多くの社会的な課題を抱え、またこれまでの活動の多くが感染症予防の観点から見直しを余儀なくされる中で、私たちは、万全の条件や環境が整わない中であっても、目的を見失わず、「できること、できる方法」を創造することを模索しています。

そこで、この間の近畿各地の取り組みから、今問われている「地域福祉の真価と可能性」について考える機会とします。

2. 主 催 第 32 回近畿地域福祉学会 奈良大会実行委員会

3. 協 力 社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会

4. 日 時 令和2年12月19日(土) 12:30~16:30

5. 会 場 オンライン開催 (zoom)

6. 対 象 日本(近畿)地域福祉学会会員、社会福祉協議会役職員、社会福祉・地域福祉関係者、民生委員・児童委員、社会福祉施設役職員、NPO、企業、議員、行政職員、学生、その他関心のある方(参加定員:150名)

7. 参加費 無 料

8. 参加申込 こちらの特設サイトからお申し込みください。

<https://nara-shakyo.jp/pages/261/>

※上記オンライン申込ができない方は、所定の様式をメールまたはFAXで送信してください。



9. 問合先 第 32 回近畿地域福祉学会 奈良大会実行委員会 事務局

奈良県社会福祉協議会 地域福祉課 (担当:浅井・岡本)

橿原市大久保町 320-11 奈良県社会福祉総合センター内

TEL:0744-29-0100 FAX:0744-29-0101 MAIL:[tiiki@nara-shakyo.jp](mailto:tiiki@nara-shakyo.jp)

## 第 32 回近畿地域福祉学会 奈良大会 日程・内容

### ■ 自由研究発表・実践活動報告【動画配信】

近畿地域福祉学会では、研究交流や情報交換の場づくりの一環として、自由研究発表、実践活動報告を募集します。若手研究者や社会福祉協議会等の地域福祉実践に取り組む学会員の皆様のご応募をお待ちしています。

※今年度は、発表動画を一定期間web公開する方法により、実施します。

|               |   |
|---------------|---|
| 12月19日～12月25日 | <p><b>■発表・報告の方法</b></p> <p>1人あたり発表時間は15分とします</p> <p>事前にオンライン収録し、大会当日から公開します</p> <p>動画視聴方法については、大会参加者にメールで案内します</p> <p>事前収録のため、質問・講評は省略といたしますが、ご意見のみ公開期間中に事務局で受付ます</p> |
|---------------|---|

### ■ 大会シンポジウム【オンラインライブ配信】

|                      |   |
|----------------------|---|
| 12月19日（土）12:30～16:30 |   |
| 12:30～12:45          | 開会挨拶・趣旨説明   |
| 12:45～14:15          | <p><b>第Ⅰ部：実践者セッション「コロナ禍での実践から見てきたこと」</b></p> <p>地域福祉実践者が、それぞれの現場でコロナ禍によるどのような「声」に遭遇し、どのような行動をとったのか、従前からの活動基盤を踏まえつつ、この間の現場実践やその中で気づきを中心に、コロナ禍で見てきた地域福祉の真価や地域共生社会実現に向けた課題と可能性について考えます。</p> <p>実践者：奈良県／吉野町社会福祉協議会 事務局長 中島正代氏<br/>                 大阪府／阪南市社会福祉協議会 事務局長 猪俣健一氏<br/>                 滋賀県／社会福祉法人さわらび福祉会理事長 金子秀明氏<br/>                 兵庫県／特定非営利活動法人なごみ 事務局長 田村幸大氏</p> <p>ナビゲーター：同志社大学教授 永田 祐氏</p> |
| 14:15～14:30          | 休憩  |
| 14:30～16:00          | <p><b>第Ⅱ部：鼎談</b></p> <p><b>「コロナ禍のその先へ－共生社会へ向けた地域福祉の真価と可能性」</b></p> <p>コロナ禍に揺れる不確実な日常のなかで、私たちは多様な価値観の下、不安・葛藤など、社会に潜在していた社会的課題に直面するとともに、困難な現実を前に、分野や領域を超えて力や知恵を出し合い、乗り越えようとする地域福祉の持つしなやかさや力強さも再確認しました。</p> <p>折しも地域共生社会の実現に向けた動きが加速化する中で、改めて地域福祉の本質（真価・深化）に着目し、これからのあり方を考えます。</p> <p>研究者：社会活動家・東京大学特任教授 湯浅 誠氏<br/>                 武庫川女子大学教授 松端 克文氏<br/>                 関西学院大学教授 藤井 博志氏</p>                |
| 16:00～16:10          | 大会総括（近畿地域福祉学会代表幹事 小野達也 / 桃山学院大学教授）  |
| 16:10～16:30          | 次期開催県挨拶（和歌山県社会福祉協議会）・事務連絡<br>閉会   |

■ 令和 2 年度近畿地域福祉学会総会については、別途会員宛にご案内します。

\*はなれていても学び合おう\*

---

オンライン大会へのご参加にあたって（お願い）

---

1. お申込はできるだけ専用サイトから  
当日のログイン方法などは、後日メールで配信しますが、メールアドレスの入カミスで送信エラー等が生じないように、専用サイトでお申込みいただければ幸いです。  
※オンライン申込が難しい場合は、添付の様式をご利用ください。
2. オンライン参加に適した通信環境  
高速かつ定額で通信ができる安定したネットワーク環境でご参加ください。  
大会シンポジウムは、ライブ配信を予定していますので通信量オーバーで接続が切れてしまいますと視聴ができない可能性がありますのでご注意ください。
3. パソコンやタブレットなどの機器  
スピーカーの使用できるパソコンやタブレットをご利用ください。  
今回のプログラムでは、質疑応答をチャット機能で行う予定ですので、マイク・カメラについては必須ではありません。  
ヘッドホンなどがあると周囲を気にせず視聴いただけます。
4. Zoom の接続  
zoom を使用した配信を行いますので、初めてご利用する方は、事前に接続テストを行うことをお勧めします。  
[zoom テスト]で検索 <http://zoom.us/test>
5. 大会当日までのスケジュール  

|          |  |
|----------|--|
| 11月27日まで | 参加申込受付<br>→専用サイトでお申込いただくと、登録いただいたメールに受付完了メールが自動的送信されます。未着の場合は、事務局にご連絡ください。 |
| 12月11日頃  | 当日参加いただく zoom のアドレスなどをメール送信<br>→未着の場合は、12月14日以降にお問合せください。                  |
| 12月19日   | 大会シンポジウム開催<br>実践研究発表動画公開（12月25日まで）   |

---

ご不明な点は、大会事務局までお問合せください